



2022年11月2日

各 位

会 社 名 : 富士製薬工業株式会社

代表者名 : 代表取締役社長 岩井 孝之

(コード番号:4554 東証プライム市場)

問合せ先 : 常務執行役員経営企画部長 佐藤 武志

T E L : 03-3556-3344

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年11月5日に公表しました2022年9月期通期(2021年10月1日～2022年9月30日)の業績予想及び配当予想を以下のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

1. 2022年9月期通期(2021年10月1日～2022年9月30日)連結業績予想数値の修正

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	35,966	3,490	3,540	2,562	105.49
今回修正予想 (B)	35,426	3,777	3,725	2,787	114.76
増 減 額 (B-A)	△539	289	185	225	9.27
増 減 率 (%)	△1.5	8.3	5.2	8.8	8.8
(参考) 前期実績 (2021年9月期)	33,990	3,349	3,250	2,432	90.54

2022年9月期の期首より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準29号)等を適用するため、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっております。前期実績は当該会計基準等を適用していない金額となります。

2. 2022年9月期通期（2021年10月1日～2022年9月30日）個別業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	33,508	3,436	3,486	2,562	105.49
今回修正予想（B）	32,559	3,454	3,395	2,571	105.84
増減額（B－A）	△948	18	△90	9	0.35
増減率（％）	△2.8	0.5	△2.6	0.4	0.3
（参考）前期実績 （2021年9月期）	31,859	3,373	3,319	2,554	95.10

2022年9月期の期首より、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準29号）等を適用するため、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっております。前期実績は当該会計基準等を適用していない金額となります。

3. 通期業績予想修正の理由

売上高は、富士製薬工業単体では一部の主要製品の販売が期初計画に届きませんでした。他製品および海外子会社CMO事業の伸びで補った結果、期首予想を若干下回る水準となる見込みです。費用面では、販売費および一般管理費が、デジタル技術の活用を含めた営業効率化により販売経費を圧縮したこと、研究開発費の一部が翌期の発生となることから、期首予想を下回る見込みです。これらの理由により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が2021年11月5日に公表した連結業績予想を上回る見通しとなったため、通期業績予想を修正いたします。

4. 通期の配当予想の修正について

2022年9月期通期（2021年10月1日～2022年9月30日）配当予想数値の修正

	年間配当金（円）		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想		17.00	32.00
今 回 修 正 予 想		20.00	35.00
当 期 実 績	15.00		
前 期 実 績 （2021年9月期）	14.00	15.00	29.00

5. 通期配当予想修正の理由

当社は、株主の皆さまへの安定的な配当を維持し、さらに向上させることを経営上の重要課題と考えております。利益配分の決定に当たっては、当期純利益の状況を踏まえ、今後の業績動向ならびに将来の事業展開に備えた内部留保などを総合的に勘案しつつ、当社らしい価値を提供するための投資を行いながら、安定配当を軸に配当性向 30%を目指しております。

この度、2022 年 9 月期（2021 年 10 月 1 日～2022 年 9 月 30 日）の業績予想の修正を踏まえ、株主の皆様への利益還元を促進するため、当期の期末配当の予想金額を前回予想の 17 円から 3 円増額し、1 株当たり 20 円とすることといたしました。

(注) 本資料に記載されている業績予想につきましては、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しております。実際の数値は今後様々な要因により予想数値とは異なる可能性があります。

以 上